

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭60-50087

⑮ Int. Cl.⁴B 62 D 55/14
F 16 H 7/24

識別記号

庁内整理番号

6927-3D
7127-3J

⑬ 公開 昭和60年(1985)4月8日

審査請求 未請求 (全2頁)

⑭ 考案の名称 作業車のクローラ装置

⑰ 実 願 昭58-143836

⑱ 出 願 昭58(1983)9月14日

⑲ 考 案 者 猪 俣 廣 明 堺市石津北町64番地 久保田鉄工株式会社堺製造所内

⑳ 出 願 人 久保田鉄工株式会社 大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号

㉑ 代 理 人 弁理士 北 村 修

⑳ 実用新案登録請求の範囲

- ① 非接地面に横幅方向に適宜間隔を隔てて一対の芯金突起1, 1を突設したクローラベルト2の前記芯金突起1, 1の外側位置に転輪3, 3を配置するとともに、前記一対の芯金突起1, 1間に入り込む状態で脱輪防止具4を設けてある作業車のクローラ装置において、前記各転輪3, 3の外周壁部5, 5を前記芯金突起1, 1近くのクローラベルト2の非接地面に摺接する転輪回転軸芯と平行な直円状周壁部5A, 5Aと前記脱輪防止具4が芯金突起1, 1間から脱しない範囲で転輪3, 3に対してクローラベルト2が一定以上に傾倒したときクローラベルト2の非接地面に接当する傾斜周壁部5

B, 5Bとから構成してある作業車のクローラ装置。

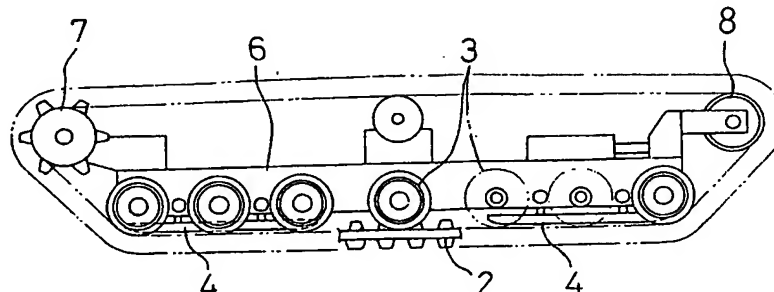
- ② 前記脱輪防止具4が機状のものである実用新案登録請求の範囲第①項に記載の作業車のクローラ装置。

図面の簡単な説明

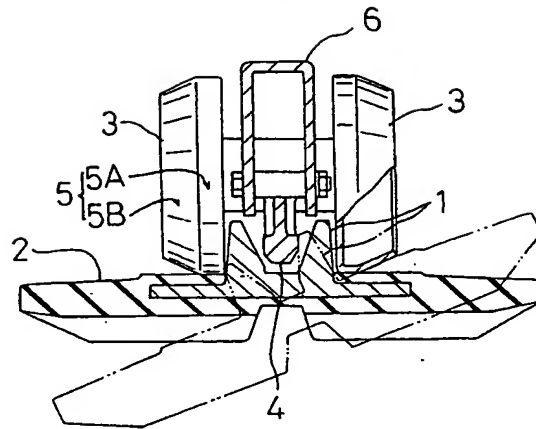
図面は本考案に係る作業車のクローラ装置の実施例を示し、第1図は全体側面図、第2図は要部拡大縦断正面図、第3図は従来例を示す要部拡大縦断正面図である。

1…芯金突起、2…クローラベルト、3…転輪、4…脱輪防止具、5…外周壁部、5A…直円状周壁部、5B…傾斜周壁部。

第1図



第 2 図



第 3 図

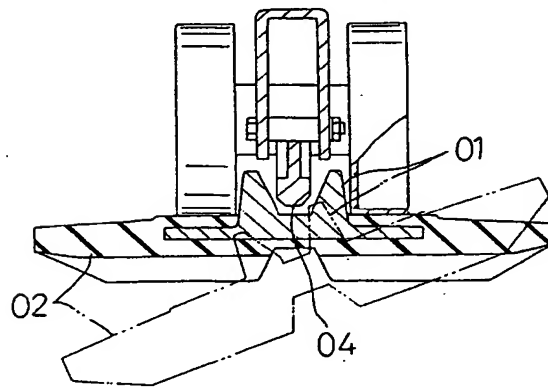


図13

図13

